BOSE®

OWNER'S MANUAL

アコースティックウェーブ ミュージックシステムII（AWMS II） CDチェンジャー

取扱説明書

この度は AWMS II CDチェンジャーをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。また、必要なときにご覧になれるように大切に保管しておくことをおすすめいたします。



※写真のCDは含まれていません。

※説明の便宜上、イラストは実物と異なる場合があります。

安全上の留意項目

ご使用前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

絵表示について

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。



△記号は注意を促す内容を告げるものです。(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。

警告	 電源プラグをコンセントから抜け	●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。 ●万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ●万一内部に異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
		●電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	 水場での使用禁止	●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
		乾電池を使用する機器のみ ●乾電池は、充電しないでください。電池の破損、液もれにより、火災・感電の原因となります。
		ボタン電池を使用する機器のみ ●この機器に使用しているボタン電池を取り外した場合は、小さなお子様がボタン電池をあやまって飲むことがないようにしてください。電池は幼児の手の届かないところへおいてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 警告	使用禁止	●雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。
		●表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ●この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。 ●この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
		●万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
		●この機器の後部にある、通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪いところに押し込む。テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。
	⚠	●この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。
		●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて火災・感電の原因となります。 ●この機器の通風孔、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。 ●この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
	分解禁止	●この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。 ●この機器は改造しないでください。火災・感電の原因となります。
		●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意		●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。 ●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 ●電源コード、スピーカーコードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。 ●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災・感電の原因となることがあります。 ●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

注意	⚠	●電源を入れる前には音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。 電池を使用する機器のみ ●電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向きに注意し、表示通りにいれてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
		●旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 ●お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
	⚠	●5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長時間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。 ●アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。 ※送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
		●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 ●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
		●移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
		●長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
	⚠	●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

あなたが放送やCD、テープ、又はビデオディスクや市販のソフトから録音や録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

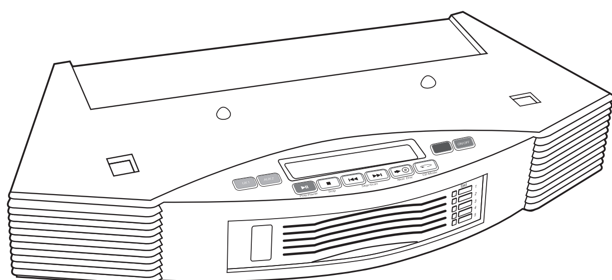
本体のお手入れについて

通常は、柔らかい布でから拭きをしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を水で薄めた液に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後、乾いた布で拭いてください。シンナー・ベンジン・アルコール、化学薬品を使用すると表面が侵されたり、文字が消えたり、外装ムラになることがありますから絶対に使わないでください。また、スプレー式の殺虫剤や消臭剤、芳香剤などもかからないようにご注意ください。

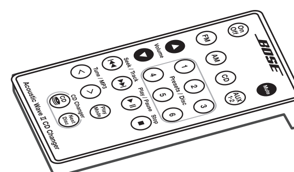
開梱時のご注意

●付属品を確認してください

もし、開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店か取扱店までご連絡ください。そのままでのご使用はおやめください。また、箱や梱包材は、後日の修理メンテナンス等が必要になった場合のために保管しておくことをおすすめします。



AWMS II CDチェンジャー



リモコン

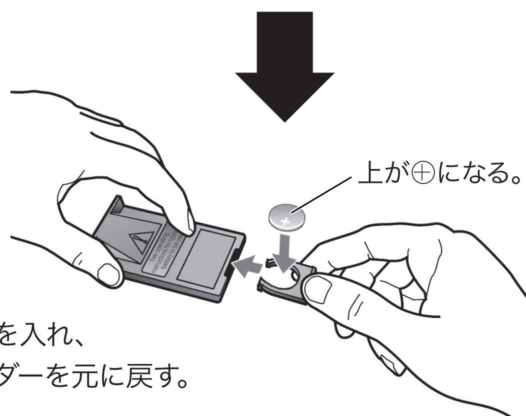
※付属のリチウムボタン電池は、動作チェック用としてすでにリモコンに装着されています。消耗していた場合は、新品電池と交換の上ご使用ください。

●リモコンの電池の入れかた

※リモコンには、初めから電池が装着されています。電池が消耗した場合は、次の手順で電池を交換してください。



電池ホルダーを引き出す。

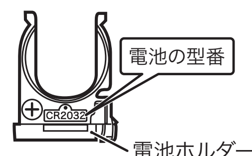


電池を入れ、
ホルダーを元に戻す。

電池を交換する場合は、電池の型番にご注意ください。

使用電池

3Vリチウムボタン電池
CR2032またはDL2032

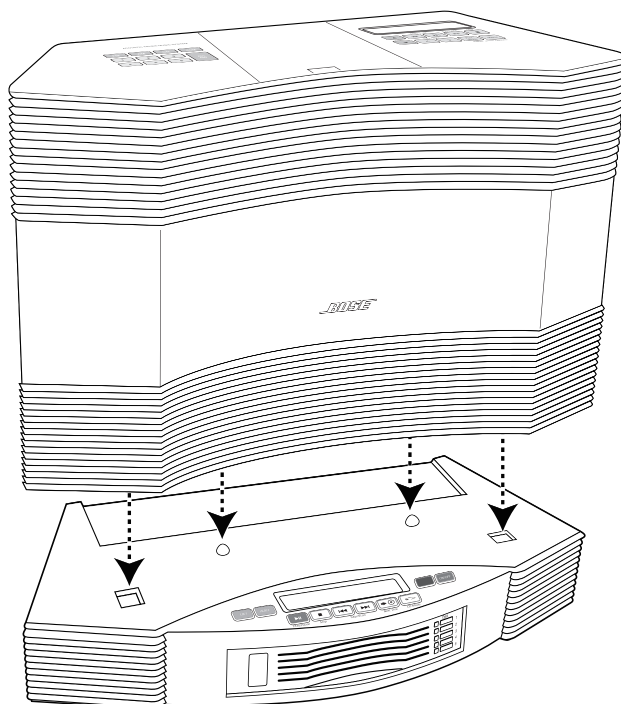


⚠ 注意

リモコン用の電池は正しい取り扱いを行わない場合、火災を起こしたり、化学物質で皮膚をおかされる結果となることがあります。幼児には触れさせないように十分ご注意ください。また、分解や充電、焼却を行ったり100度以上の熱を与えないようにしてください。交換の際には指定の電池のみをご使用ください。異なる製品を使用した場合、火災や爆発の原因となることがあります。使用済み乾電池を廃棄する場合は、お住まいの市町村の指示または規則に従ってください。

※リモコンは、AWMS IIの受光部に向けてください。動作範囲については、AWMS IIのオーナーズガイドをご覧ください。

CDチェンジャーの設置について



図のようにAWMS IIの後足の部分をAWMS II CDチェンジャーのくぼみの部分と突起の部分に合わせます。

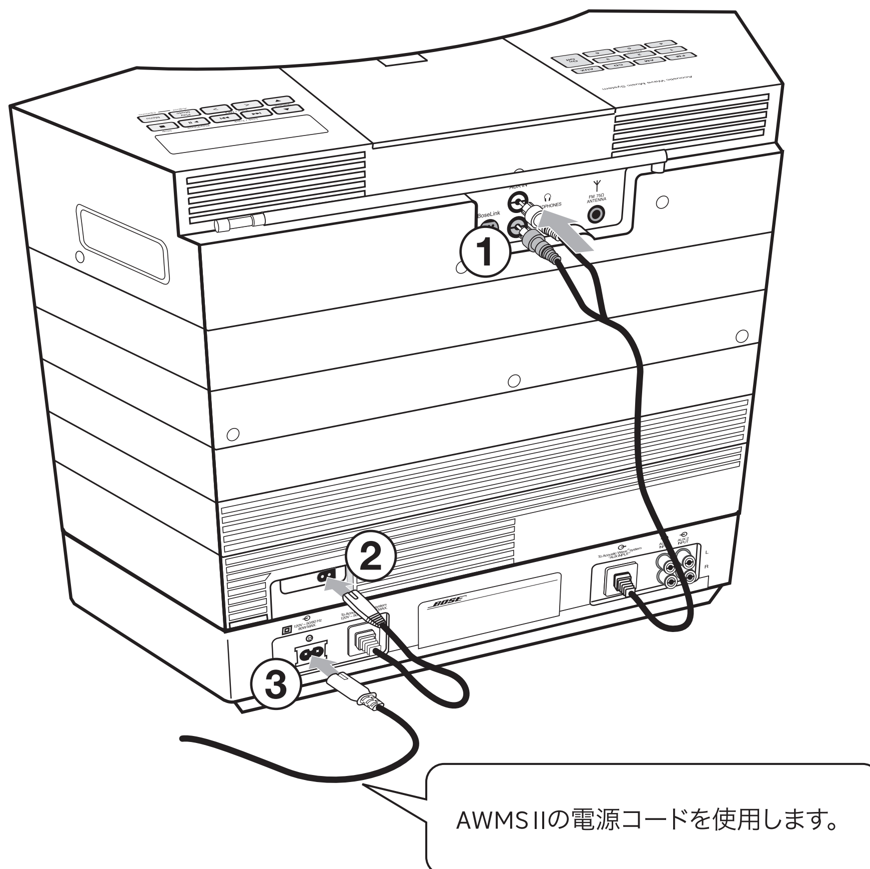
●設置時のご注意

- しっかりとしたテーブルなど、平坦な場所に設置してご使用ください。
- 金属板の上に設置しないようにしてください。ラジオの受信感度が低下することがあります。
- 電子レンジ、コンピューター、ビデオデッキ、テレビなどの電子機器の近くに設置しないようにしてください。電子機器からのノイズでラジオの受信感度が低下することがあります。
- 湿気やほこりの多いところには設置しないようにしてください。内部に湿気やほこりが入り込むと火災や故障の原因となります。
- AWMS IIは内部から、多少の熱を発生しますので、熱に弱い物の上や近くに設置しないでください。
- ゴム足は素材の性質から、設置面の塗料によっては、移行または汚染を示す可能性があります。事前にご確認のうえご使用ください。
- 付属のゴム足は高摩擦性を有している分、塗装面との接触面に密着しやすい性質を持っております。接触面の一部を剥がしてしまう可能性も有りますので、事前にご確認のうえご使用ください。

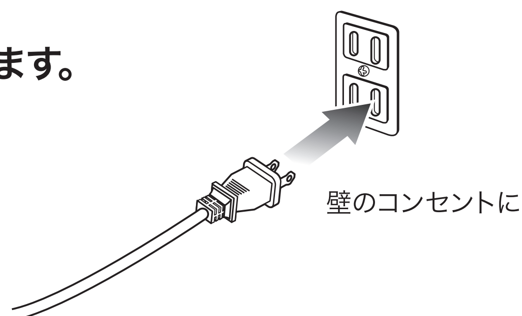
AWMS IIとの接続

 **注意**　すべての結線が終わるまでは電源コードをコンセントには接続しないでください。

①〜③の順番に接続してください。



コンセントにつなぎます。



●ご注意

・ コンセントに接続すると、約30秒「PLEASE WAIT」と表示します。この表示が消えるまで、決してディスクを挿入しないでください。

リモコンボタンの名称と使い方

(　　) 内のページ数はAWMS IIのオーナーズガイド内のページです。

AMボタン

AMラジオを選択します (14ページ)。

FMボタン

FMラジオを選択します (14ページ)。

Volume (ボリューム) ボタン

音量を調節するときに使用します (9ページ)。

Seek／Track (シーク／トラック) ボタン

●AWMS II のCD、MP3CDを聴いているとき (10、11ページ)

CD、MP3CDのトラックやファイルを選ぶときに使用します。

●ラジオを聴いているとき (14ページ)

1回押すと十分受信できる強さの電波の放送局を自動的に選局します。

●AWMS II CDチェンジャーのCDを聴いているとき

CDのトラックを選ぶときに使用します。

Tune／MP3 (チューン／MP3) ボタン

●AWMS II のCD、MP3CDを聴いているとき (10、11ページ)

押し続けると早送り、早戻しができます。MP3CDの場合は、小刻みに押すと、フォルダーを選ぶことができます。

●ラジオを聴いているとき (14ページ)

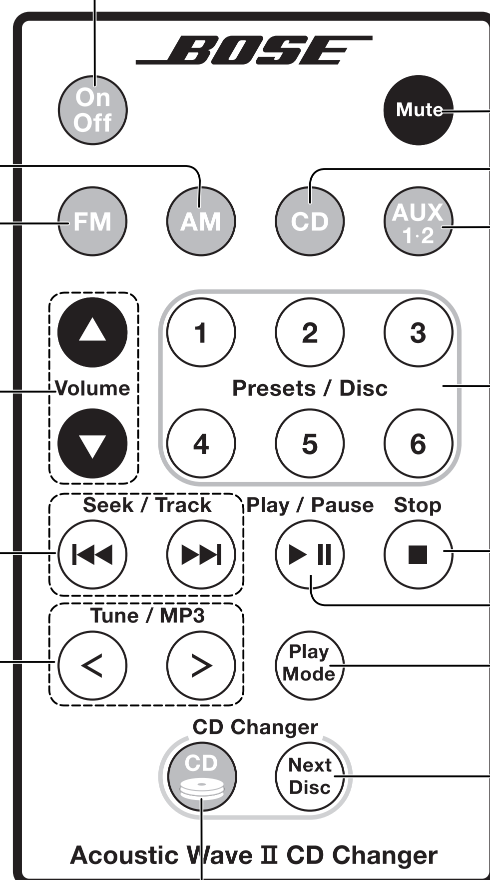
小刻みに押すか、あるいは押し続けてお好きな放送局を選びます。

●AWMS II CDチェンジャーのCDを聴いているとき

押し続けると早送り、早戻しができます。

On／Offボタン

本体の電源をオン／オフするときに使います (9ページ)。



CD Changerボタン

AWMS II CDチェンジャーの電源がオンします。

AWMS II もAWMS II CDチェンジャーも電源がオフの時にこのボタンを押すと、両方の電源がオンします。

Mute（ミュート）ボタン

一時的に消音します。解除するにはもう一度このボタンを押すか、ボリューム▲ボタンを押します(9ページ)。

CDボタン

CDを選択します（10ページ）。

AUX（外部入力切換）ボタン

AWMS II CDチェンジャーのAUX1 INPUT/AUX2 INPUTに接続された機器を聴く時にこのボタンを押します。

Presets（プリセット）ボタン

●AWMS II の場合

ラジオの放送局を登録したり、登録した放送局を選ぶときに使用します(15ページ)。

●AWMS II CDチェンジャーの場合

ディスクスロットを変更する時に押します。

Stop（ストップ）ボタン

CD、MP3CDの再生を停止します（**10、11**ページ）。
※ディスクを取り出さない限り、前回再生を止めた近辺から再生を始めます（リジューム再生）。

CD再生ボタン

CDの再生／一時停止をするときに使用します（10、11ページ）。

Play Mode（プレイモード）ボタン

●AWMS II のCD、MP3CDを聴いているとき（12ページ）

CD、MP3CDに収録されている曲をランダム再生、あるいは繰り返し再生を選びます。

●ラジオを聴いているとき（15ページ）

トークラジオモードのオン／オフをします。

●AWMS II CDチェンジャーのCDを聴いているとき

CDに収録されている曲をランダムに再生、あるいは繰り返し再生する時に使用します。

Next Discボタン

ディスクスロットを変更する時に押します。

アコースティック ウェーブミュージックシステムII CDチェンジャーのボタンの名称と使い方

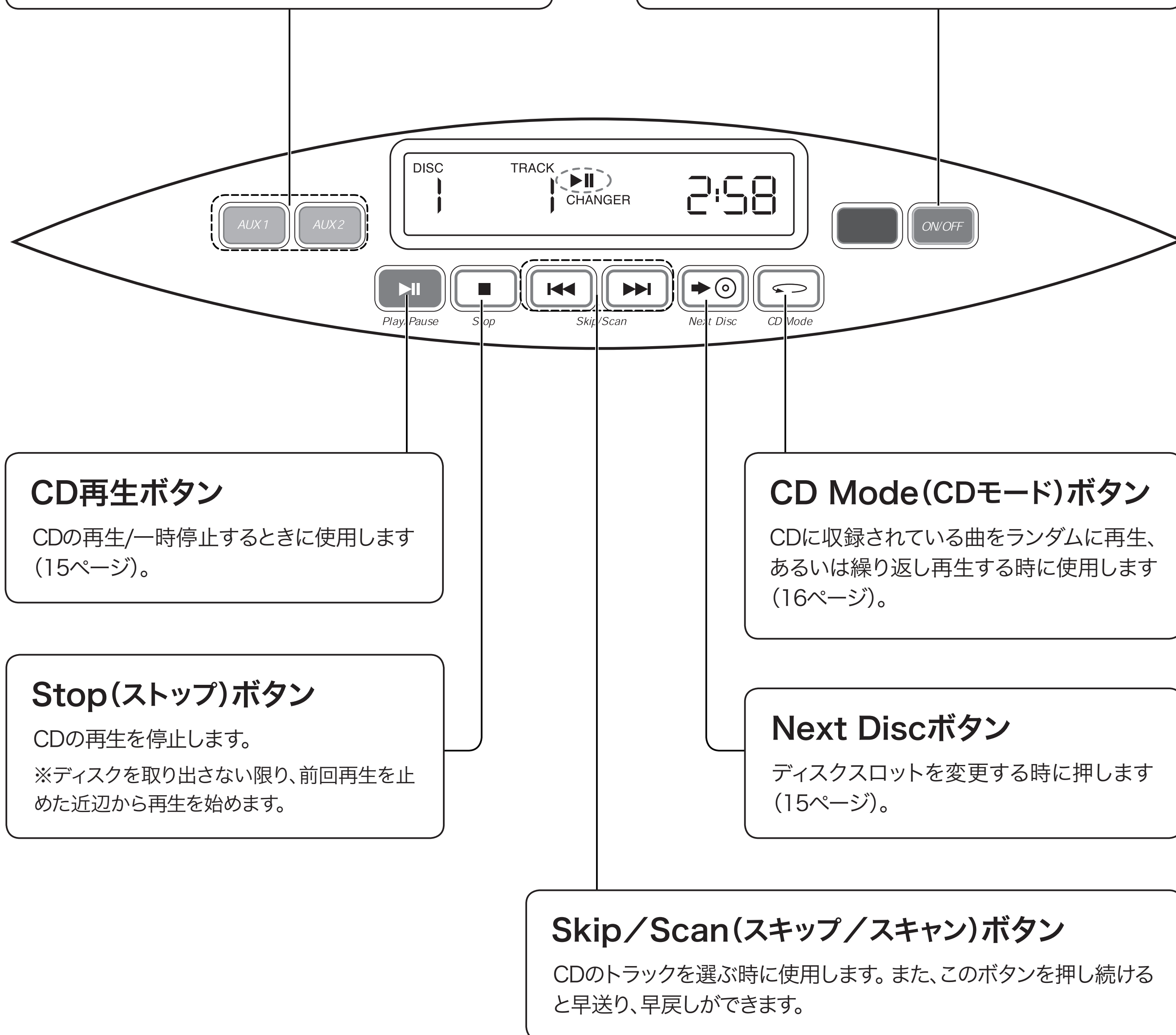
(　　) 内のページ数は本取扱説明書内のページです。

AUX1／AUX2（外部入力切換）ボタン

AUX1 INPUT/AUX2 INPUTに接続された機器を聴く時にこのボタンを押します（17ページ）。

On／Offボタン

CDチェンジャーの電源をオン/オフする時に使用します（11ページ）。



CD再生ボタン

CDの再生/一時停止するときに使用します（15ページ）。

CD Mode（CDモード）ボタン

CDに収録されている曲をランダムに再生、あるいは繰り返し再生する時に使用します（16ページ）。

Stop（ストップ）ボタン

CDの再生を停止します。

※ディスクを取り出さない限り、前回再生を止めた近辺から再生を始めます。

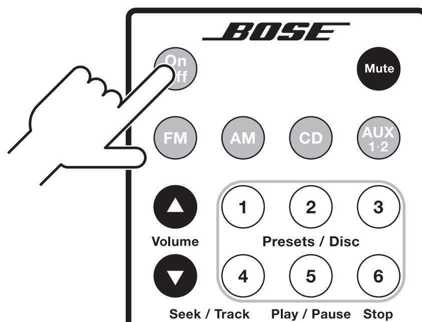
Next Discボタン

ディスクスロットを変更する時に押します（15ページ）。

Skip／Scan（スキップ／スキャン）ボタン

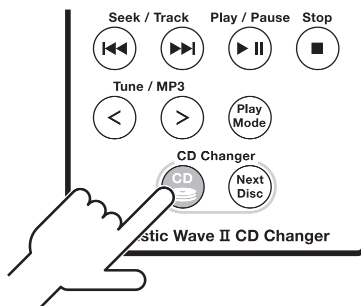
CDのトラックを選ぶ時に使用します。また、このボタンを押し続けると早送り、早戻しができます。

電源のオン/オフについて



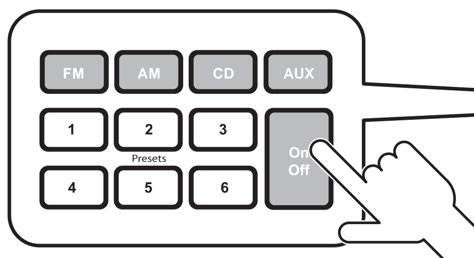
AWMS II の電源をオンします(AWMS II CDチェンジャーの電源はオンしません)。

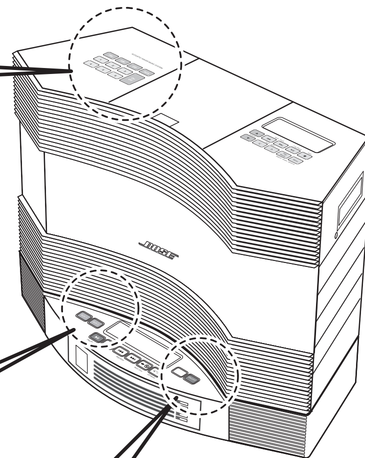
AWMS II とAWMS II CDチェンジャーの電源がオンしている時に押すと、両方の電源をオフします。



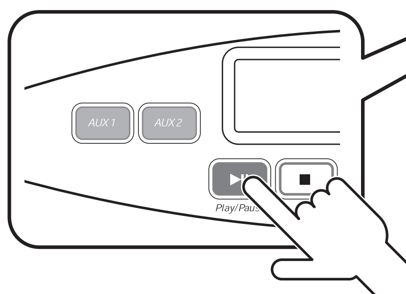
AWMS II CDチェンジャーの電源をオンします。

♪:AWMS II とAWMS II CDチェンジャー両方の電源がオフの時にこのボタンを押すと、両方共電源がオンします。

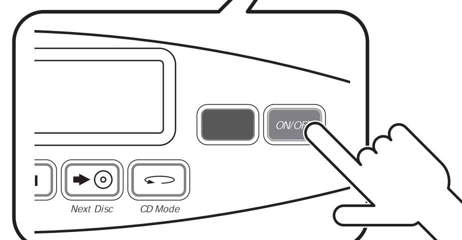




AWMS II の電源がオンします



AWMS II とAWMS II CDチェンジャー両方の電源がオンしてCDの再生を始めます。



AWMS II 、AWMS II CDチェンジャー両方の電源がオンして、電源をオフする前に聴いていたソースの再生を始めます。電源がオンしているときに押すと、AWMS II CDチェンジャーの電源をオフします。

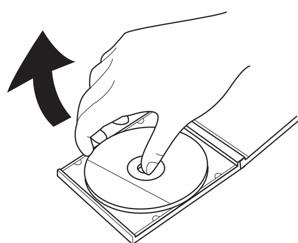
ディスクの取り扱いについて

●結露現象について

冬、暖房のきいた部屋の窓ガラスに水滴がつき、くもってしまう現象、これが結露現象です。冷えきった状態のまま暖かい部屋に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、光学系のレンズ(ピックアップのレンズ部分)に露が生じ(結露)、レーザーによるディスクからの信号読み取りができず、動作しないことがあります。このような現象が生じた場合は、周囲の状況にもよりますが、電源を入れ1時間程放置すると結露が取り除かれ正常に動作するようになります。

●ディスクの取り扱いについて

ディスクの表面にキズをつけないよう大切に扱ってください。
ディスクのセットは、必ずレーベル面を上にして、セットしてください。

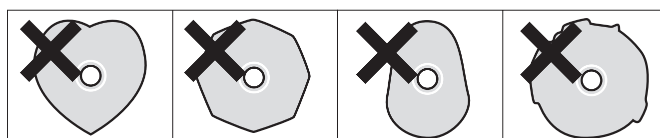


ディスクをケースから取り出すときは、必ずケースの中心を一度押して、ディスクの外周部分を手ではさむように持って取り出してください。



ディスクを持つ場合には、演奏面（ラベルの印刷していない面）に触れないように、両端をはさんで持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

- レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。
- 再生が終わったディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ディスクは、2枚以上重ねて入れたり、続けて入れたり、ディスク以外のものを入れないでください。故障の原因になります。
- 市販のディスクスタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



- AWMS II CDチェンジャーは8cmディスクには対応していません。8cmCDを挿入すると再生されないばかりか取り出しが出来なくなる場合があります。また、シングルCD用アダプターを装着したCDも故障の原因となるため、使用しないでください。

ディスクの取り扱いについて

●ディスクの表面はいつもきれいに

ディスクの表面を拭くときは必ずディスク専用のクリーナーを使用して右の図のように拭いてください。

※ ディスクは、プラスチック製です。従来のアナログディスク用のクリーナーや帯電防止剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品を使用すると、ディスクの表面に悪い影響を与えますので絶対に使用しないでください。



●ディスク保管上の注意

ディスクはケースに入れて正しく保管しましょう。ディスクを大切にするため次のような場所に置くことはさけてください。

- 直射日光の当たる場所。
- 暖房器具の近くや空調の吹き出し口などの高温になる場所。または高温になる物の上。
- 車の中などの高温になる場所。
- 投光照明機などの発熱物の近くの場所。
- 極端に寒い場所。
- 湿気や水分のある場所、プール、浴室などの湿気の多い場所。
- 屋外や直接水のかかるところ。



ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

●再生対応メディア…CD／CD-R／CD-RW

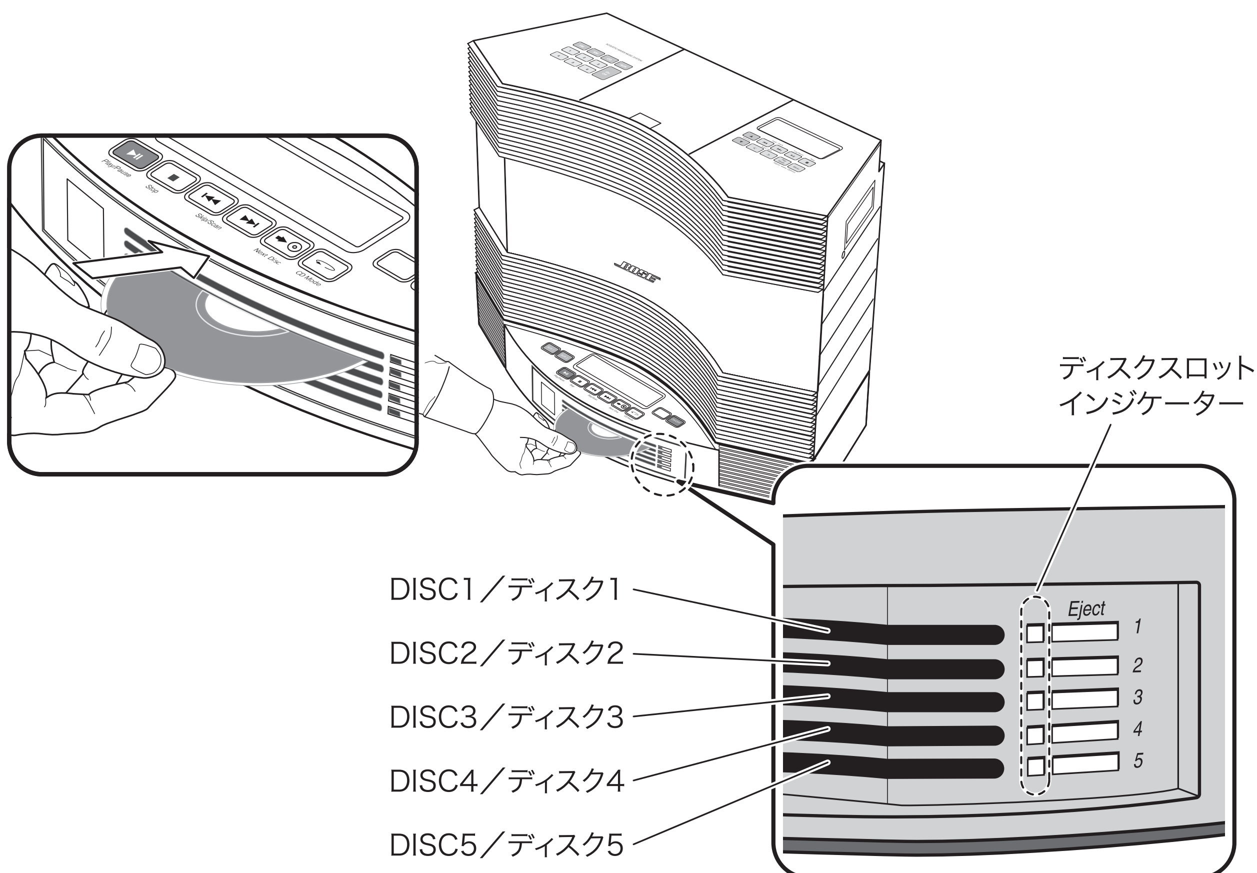
※CD-R／CD-RWディスクの取り扱いについて

- 録音に使用したCDレコーダーやCD-R／CD-RWディスクの特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。
- CD-R／CD-RWディスクの取り扱いにあたっては、ディスクの使用上の注意を必ずお守りください。

●再生対応フォーマット…CD-DA（オーディオCD）

※MP3などのオーディオCD以外のフォーマットには対応しておりません。

ディスクの入れ方



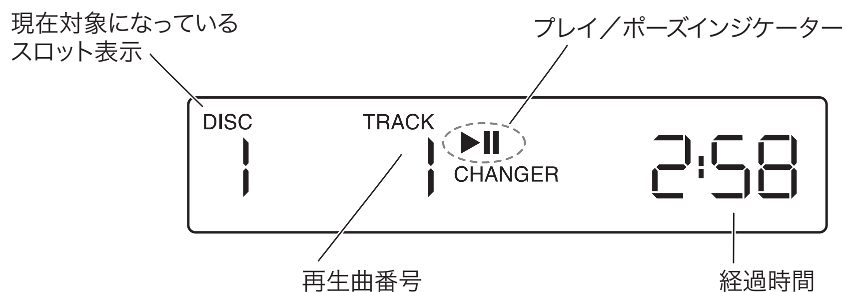
●ディスクスロットインジケーター

消灯……………………………… ディスクが挿入されていません。

緑色が点灯…………………… ディスクが挿入されていて、このスロットに入っているディスクが操作の対象になります。

オレンジ色が点灯……… ディスクが挿入されていますが、操作の対象になっていません。

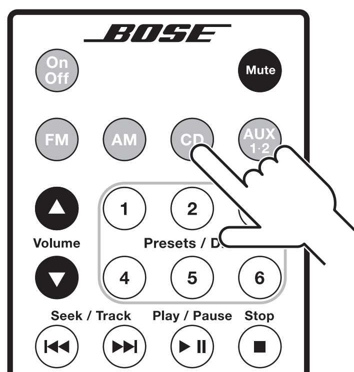
表示部の内容

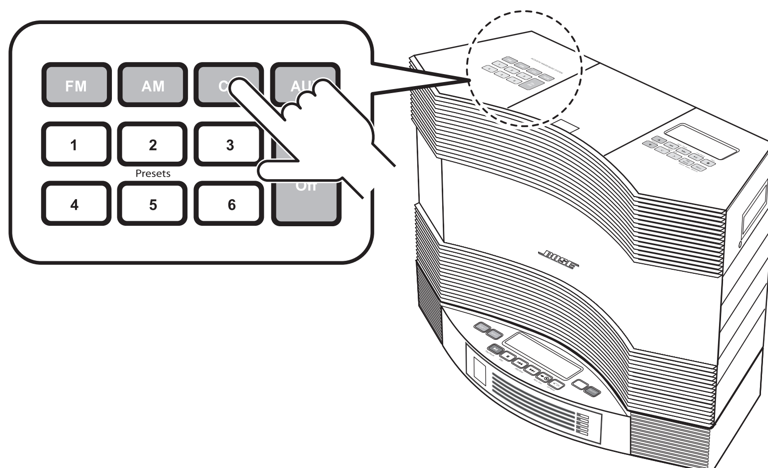


ディスクの再生のしかた

●AWMS II

ディスクを再生するには

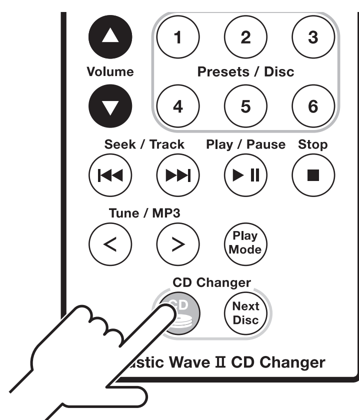




※このとき、AWMS II CDチェンジャーの電源が、自動的にオフします。

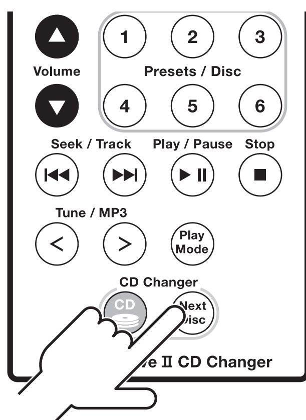
●AWMS II CDチェンジャー

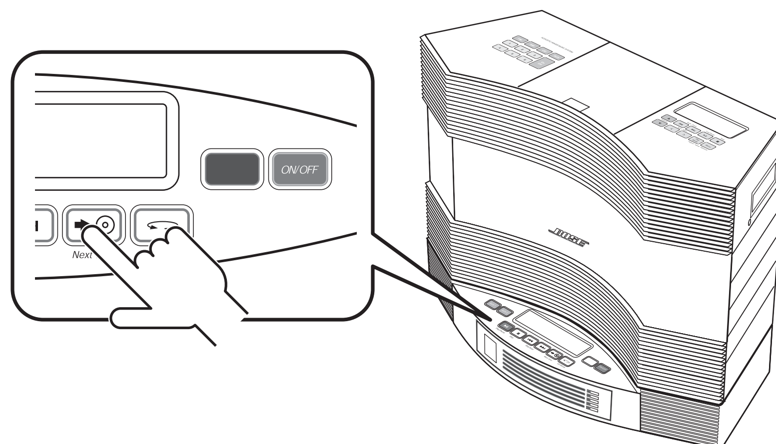
ディスクを再生するには



※AWMS II とAWMS II CDチェンジャーの両方の電源がオフの時に、このボタンを押すと、両方の電源がオンします。

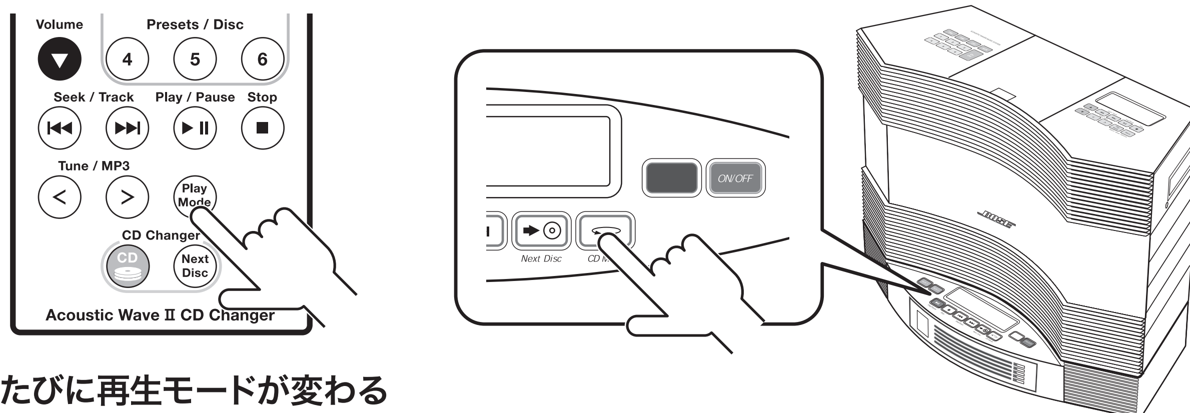
再生するディスクを選ぶには



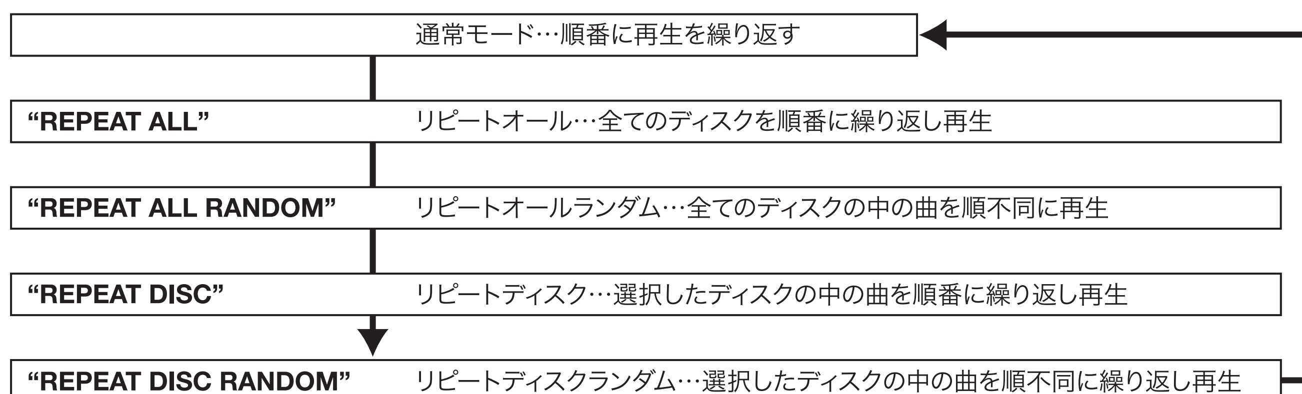


ディスクの再生のしかた

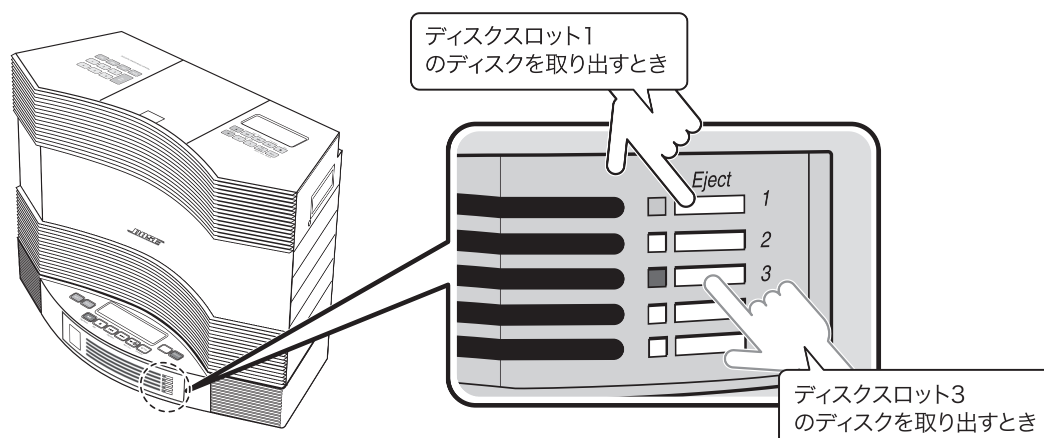
●シャッフル(順不同)、リピート(繰り返し)再生について



押すたびに再生モードが変わる

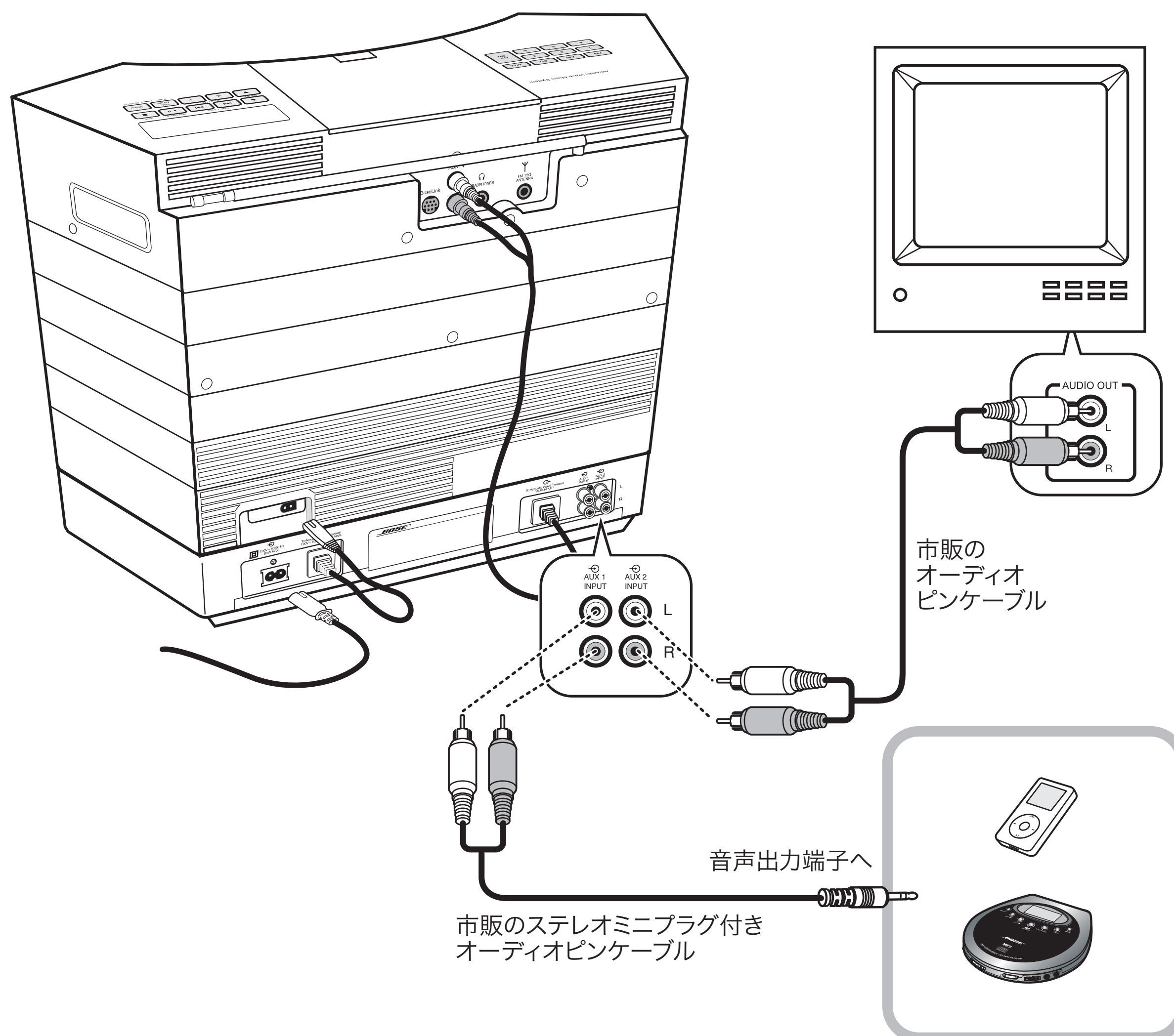


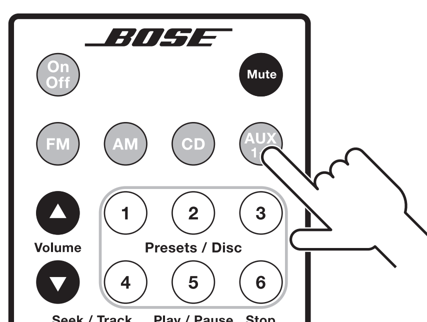
ディスクを取り出すには



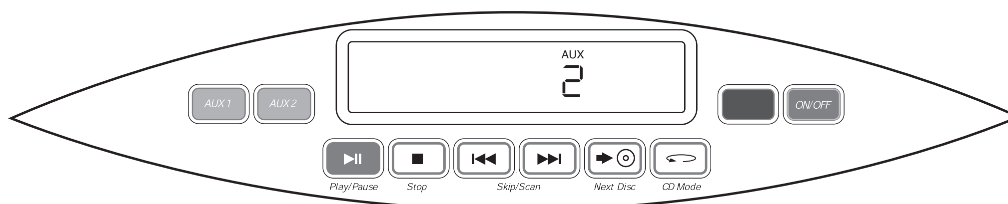
※ディスクを抜かずにそのままにしておくと、約10秒程で再び挿入されて再生が始まります。
※電源オフ時でもディスクを取り出すことができます。

外部の機器への切り換え方





AUX1 INPUT／AUX2 INPUTに接続された機器を聴く時に、
このボタンを押して入力を切り替えます。
このボタンを押す度に、AUX1とAUX2を切り替えます。



AUX2を選択している時のAWMSⅡCDチェンジャーの表示部

故障かな？と思ったら

問　題	解 決 方 法
本体が機能しない	・電源コードがしっかりとコンセントに差し込まれているか確認してください。
音がしない	・音量を上げます。 ・Mute ボタンを押してミュートを解除します。 ・CDが正しくセットされているかを確認してください。 ・AUXに接続されている外部機器の接続を確認してください。 ・AUX端子に接続されている外部機器を聴きたい場合はAUXを選択してください。 ・AUX端子に接続されている外部機器の電源をオンにしてください。 ・ヘッドホンがつながれている場合は抜いてください。 ・MP3CDを再生していませんか？ AWMS II CDチェンジャーは、MP3CDには対応していません。MP3CDの再生には、AWMS II を使用してください。 ・AWMS II とAWMS II CDチェンジャーの接続を確認してください（7ページ参照）。 ・AWMS II CDチェンジャーの電源コードのプラグが電源がきているコンセントに確実に差し込まれていることを確認してください。 ・外部の機器を選択している場合（AUX1またはAUX2を選択している場合）、外部の機器からAWMS II CDチェンジャーまでの接続を確認してください。また、外部の機器の電源が入っていることを確認してください。 ・ヘッドホンがつながれている場合は抜いてください。
リモコンが効いたり 効かなかったりする 又は全く効かない	・リモコンの電池の極性が正しくセットされているか確認してください。 ・必要に応じて電池を交換してください。 ・リモコンを本体に近づけて操作してください。 ・照明や日光による影響がないか、発光部とAWMS II の受光部が汚れていたり埃がついたりしていないかを確認してください。 ・場所を変えて操作してください。
AM受信が悪い	・本体の向きを変えながら受信感度の良いところを探してください。 ・本体をテレビ、冷蔵庫、蛍光灯、ハロゲンランプ、調光器等の電気ノイズを発生するものから離してください。 ・AM放送の電波が弱い地域の可能性があります。
CDが作動しない	・表示部に再生／ポーズマークが点灯しているか確認してください。 ・マークが点滅しているときはCDがポーズ（一時停止）状態なので、Play／Pause ボタンを押してポーズ（一時停止）を解除してください。 ・CDが正しくセットされているか確認してください。 ・CDが汚れているか埃がついている可能性があります。13ページを参照しながらCDをクリーニングしてください。 ・CDが破損している可能性があります。別のCDで再生してみてください。 ・本機AWMS II CDチェンジャーではMP3CDディスクやDVDディスクは再生できません。

故障かな？ と思ったら

問　題	解 決 方 法
AWMS II 本体の電源は入っているが、マルチCDチェンジャーの電源が入らない。	・AWMS II とAWMS II CDチェンジャーの接続を確認してください（7ページ参照）。
外部の機器からの音声がでない	・外部の機器からAWMS II CDチェンジャーまでの接続を確認してください。 ・リモコンでAUX1・2ボタンを押してAUX1またはAUX2を選択してください。 ・外部の機器の電源が入っていて、再生していることを確認してください。
CDが音飛びする	・しっかりとしたテーブルなど振動のない平坦な場所に設置しなおしてください。 ・CDが汚れているか埃が付いている可能性があります。CDをクリーニングしてください。
CDが再生できない	・選択したディスクスロットにCDが挿入されているか、CDが挿入されているスロットを間違いなく選択しているかを確認してください。リモコンまたは本体のNEXT Discボタンを押して、ディスクの挿入されているスロットを選んでください。
ディスクが出てこない	・電源コードを一度コンセントから抜いて、しばらくした後、再び電源コードを差してから、もう一度ディスクを取り出してください（16ページ）。

お問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせ先
ボーズ株式会社　サービスセンター
お客様専用ナビダイヤル 0570−080−023
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-1124へおかけください。
〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル

製品等のお問い合わせ先
ボーズ株式会社　ユーザーサポートセンター
お客様専用ナビダイヤル 0570−080−021
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-0955へおかけください。

仕　様

電源電圧	AC100V 50／60Hz
最大消費電力	80W（システムのトータルとして）
待機電力	3.5W以下
外部入力	アナログ音声入力2系統（RCAジャック）
外形寸法	459（W）×84（H）×211.5（D）mm
質量	3.2kg（本体のみ）
カラー	プラチナム・ホワイト（ホワイト）、グラファイト・グレー（ブラック）
付属品	赤外線リモコン

保　証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

ボーズ株式会社 http://www.bose.co.jp/
〒 150-0036　東京都渋谷区南平台町 16 -17 渋谷ガーデンタワー 5 階

BOSE
Better sound through research

● 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
● 弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご了承願います。

OM-1374-F
12・12 (B)